

横河電機株式会社

# 2020年3月期 第1四半期 連結決算の概要

**対象期間：2019年4月1日～2019年6月30日**

**2019年8月6日**

## ■ 第1四半期実績：概ね堅調なスタート

- ・サマリー : 受注・売上・営業利益いずれも堅調  
特別損失計上により、四半期純利益は減益
- ・セグメント別 : 制御 増収増益 (除・為替影響 : 受注7.7%増、売上5.2%増、営業利益29.0%増)  
計測 増収減益 (受注・売上は堅調だが、先行投資による費用増)  
航機その他 減収・赤字縮小
- ・地域別 : 日本・中東の受注、インド・中東の売上が増加
- ・業種別 : ダウンストリームの受注が大幅増加、化学の受注も堅調

## ■ 通期業績予想：修正なし (為替レート : USD110円 EUR130円)

- ・リスク : 地政学リスク顕在化や貿易摩擦悪化による世界経済の減速、急激な円高進行など

1. 2020年3月期 第1四半期 連結決算の概要
2. 現状認識と今後の見通し（業績予想：修正なし）
3. 決算補足資料  
四半期別実績／営業外・特別損益／受注残推移  
研究開発費・減価償却費・設備投資／貸借対照表
4. 参考資料  
制御事業のソリューション／制御国内海外推移（2009年～2019年）  
トピックス／ESG関連インデックスへの組み入れなど／株価の状況

# 決算サマリー（対前年）

- ◆受注・売上 : 制御事業が堅調に推移し、**増加**
- ◆営業利益 : 増収および粗利率の改善により、**増益**
- ◆四半期純利益 : 特別損失30億円(ソフトウェア\*対策強化引当金繰入額)により**減益**

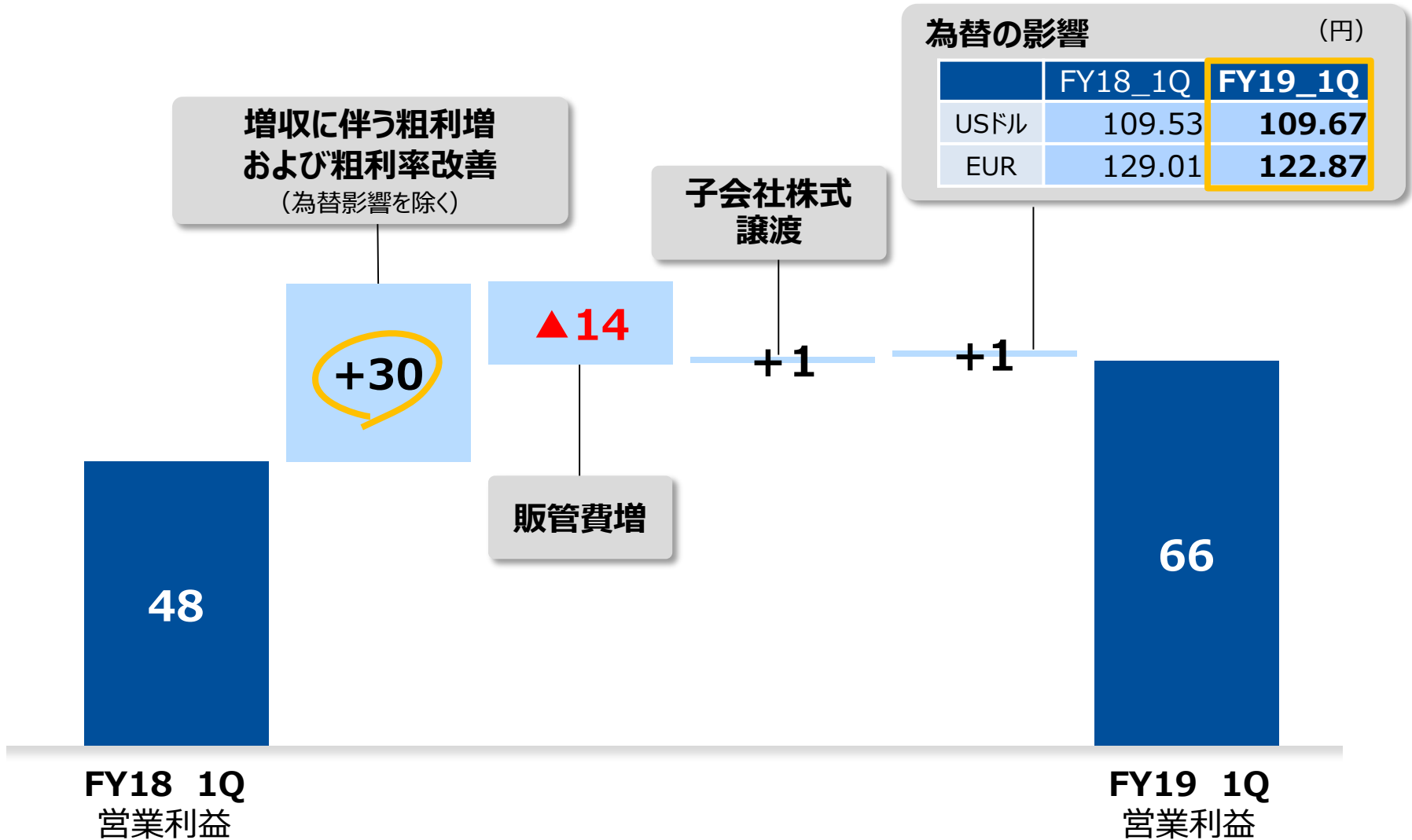
(億円)

	FY18_1Q	FY19_1Q	差異	増減率	為替および 子会社譲渡影響
受注高	1,020	<b>1,042</b>	+22	+2.1%	▲52
売上高	889	<b>903</b>	+14	+1.5%	▲38
営業利益	48	<b>66</b>	+18	+37.5%	+2
ROS(%)	5.4	<b>7.3</b>	+1.9pt	-	-
経常利益	56	<b>68</b>	+12	+20.5%	+2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34	<b>21</b>	▲13	▲37.7%	+2
為替レート   1米ドル=	109.53円	<b>109.67円</b>	+0.14	-	-

\*ソフトウェア：ソフトウェアは、宇宙線中性子の影響で記憶素子上のデータが反転を起こす現象です。使用している半導体デバイスの高集積化・微細化が進んだことに伴い、宇宙線中性子の影響を過度に受けることによって、ソフトウェアの発生頻度が高くなってきています。これは他業界でも喫緊の課題であり、当社も解析および研究に取り組んでいます。

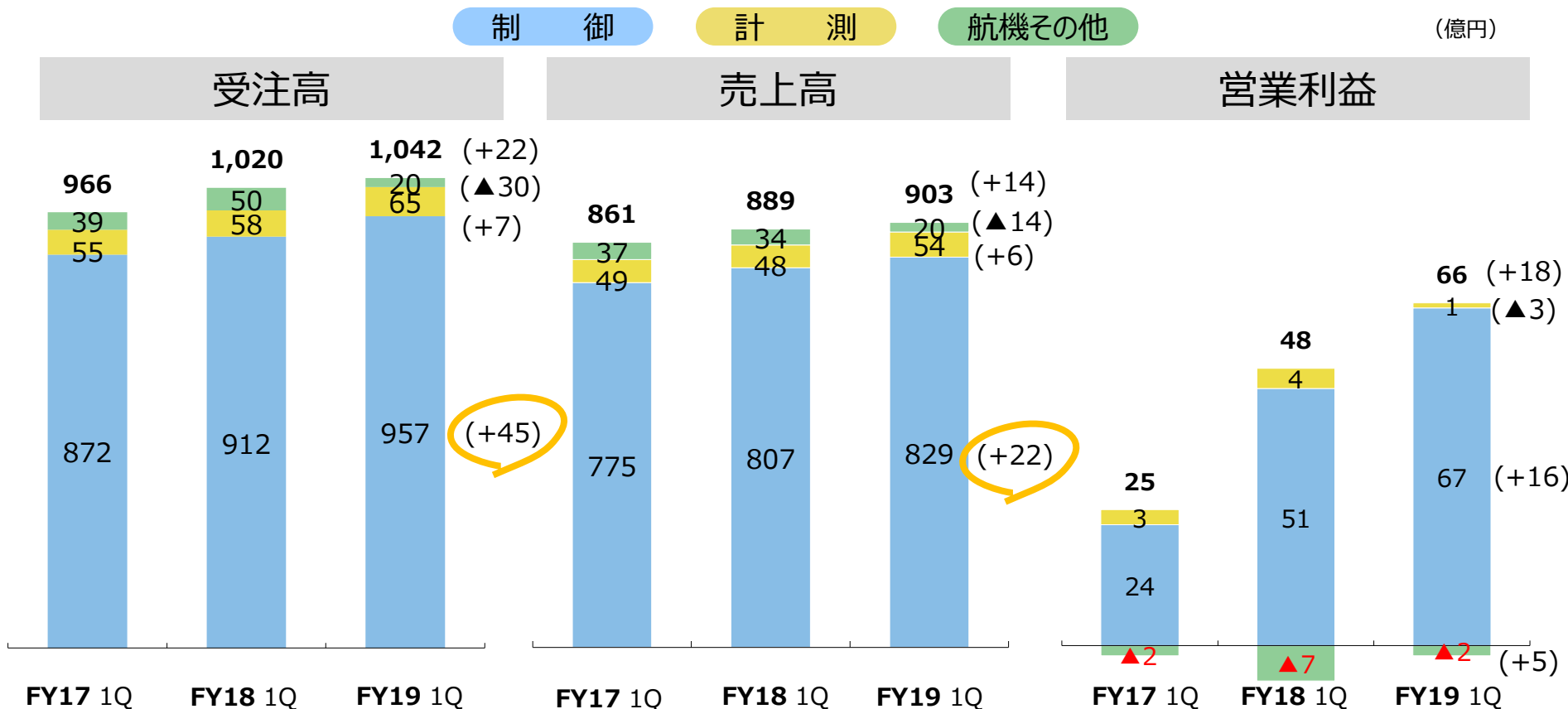
# 営業利益分析（対前年同期比）

(億円)



# セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆ 制御事業 : 受注は日本と中東が堅調。売上は円高のなかで増収を確保  
(為替影響 : 受注▲25億円、売上▲20億円)  
営業利益は、増収に加え、粗利率改善により増益
- ◆ 計測事業 : 受注売上は堅調だが、ライフイノベーション事業の先行投資などにより減益
- ◆ 航機その他事業 : 子会社譲渡の影響により減収だが、営業利益は赤字幅が縮小



# 制御地域別 受注・売上高

◆受注：日本・中東が増加、前年大口の反動もありアジア・欧州・CISが減少（除・為替影響：7.7%増）

◆売上：インド・中東が増加（除・為替影響：5.2%増）

（億円）

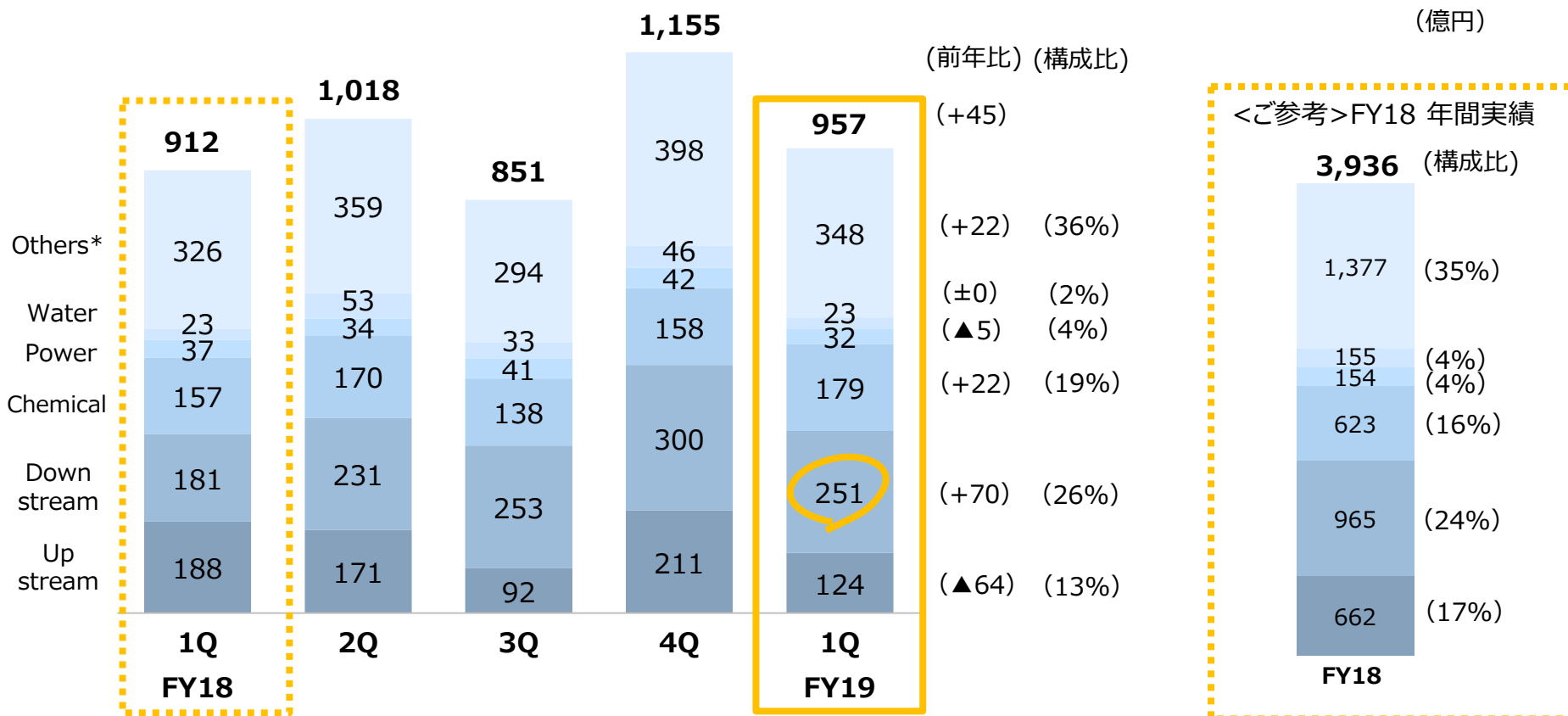
受注高	FY18_1Q (A)	FY19_1Q (B)	前年比 (B-A)
日本	230	276	46
アジア	334	315	▲19
(東南アジア・ 極東)	(167)	(153)	(▲14)
(中国)	(125)	(120)	(▲5)
(インド)	(42)	(42)	(0)
欧州・CIS	154	130	▲24
中東アフリカ	115	145	30
北米	63	68	5
中南米	16	23	7
海外小計	682	681	▲1
合計	912	957	45
為替レート 1米ドル=	109.53円	109.67円	+ 0.14円

売上高	FY18_1Q (A)	FY19_1Q (B)	前年比 (B-A)
日本	219	219	0
アジア	273	271	▲2
(東南アジア・ 極東)	(155)	(151)	(▲4)
(中国)	(98)	(86)	(▲12)
(インド)	(20)	(34)	(14)
欧州・CIS	117	120	3
中東アフリカ	112	125	13
北米	71	72	1
中南米	15	22	7
海外小計	588	610	22
合計	807	829	22
為替レート 1米ドル=	109.53円	109.67円	+ 0.14円

# 制御業種別 受注高

◆ Downstreamが大幅増加、化学も堅調継続

(億円)



\*Othersの主な業種 : Pharma Food、ELECTRICAL & ELECTRONIC、IRON & STEEL、PULP & PAPER ほか  
 なお、業種区分を精緻化してFY18数字を見直しました

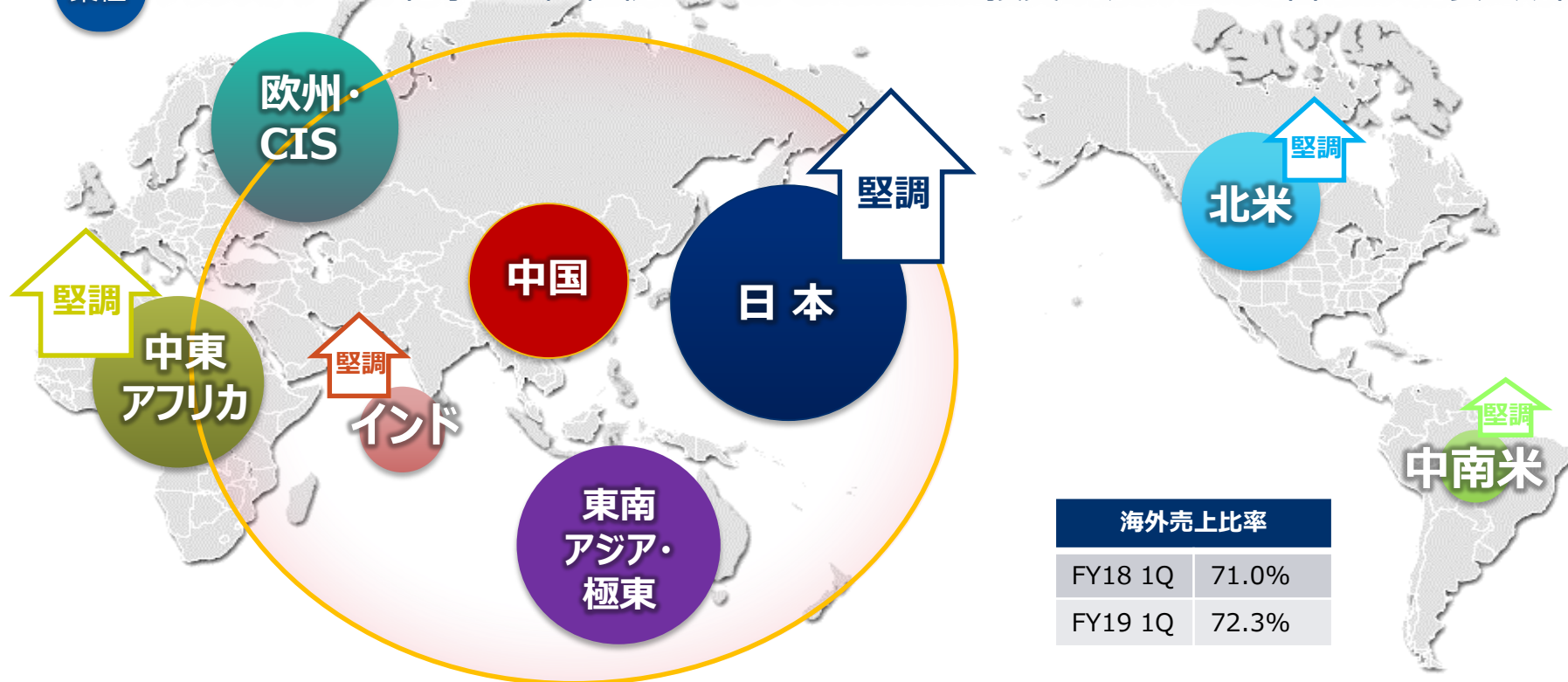


# 現状認識

景気減速が懸念されるなかで、**生産性向上・環境対応関連の需要が堅調**  
社会課題解決に向けたエネルギーシフトなどもあり、**CAPEXに一部投資の動き**  
地政学リスク顕在化や貿易摩擦悪化による**世界経済の減速、急激な円高進行**など不透明感も

**地域** 中東・日本の受注、中東・インドの売上が増加、中東・アフリカの機会に注目

**業種** ダウンストリーム、化学は堅調継続、Oil to Chemicalに投資の動き、LNGを含むガス需要に期待

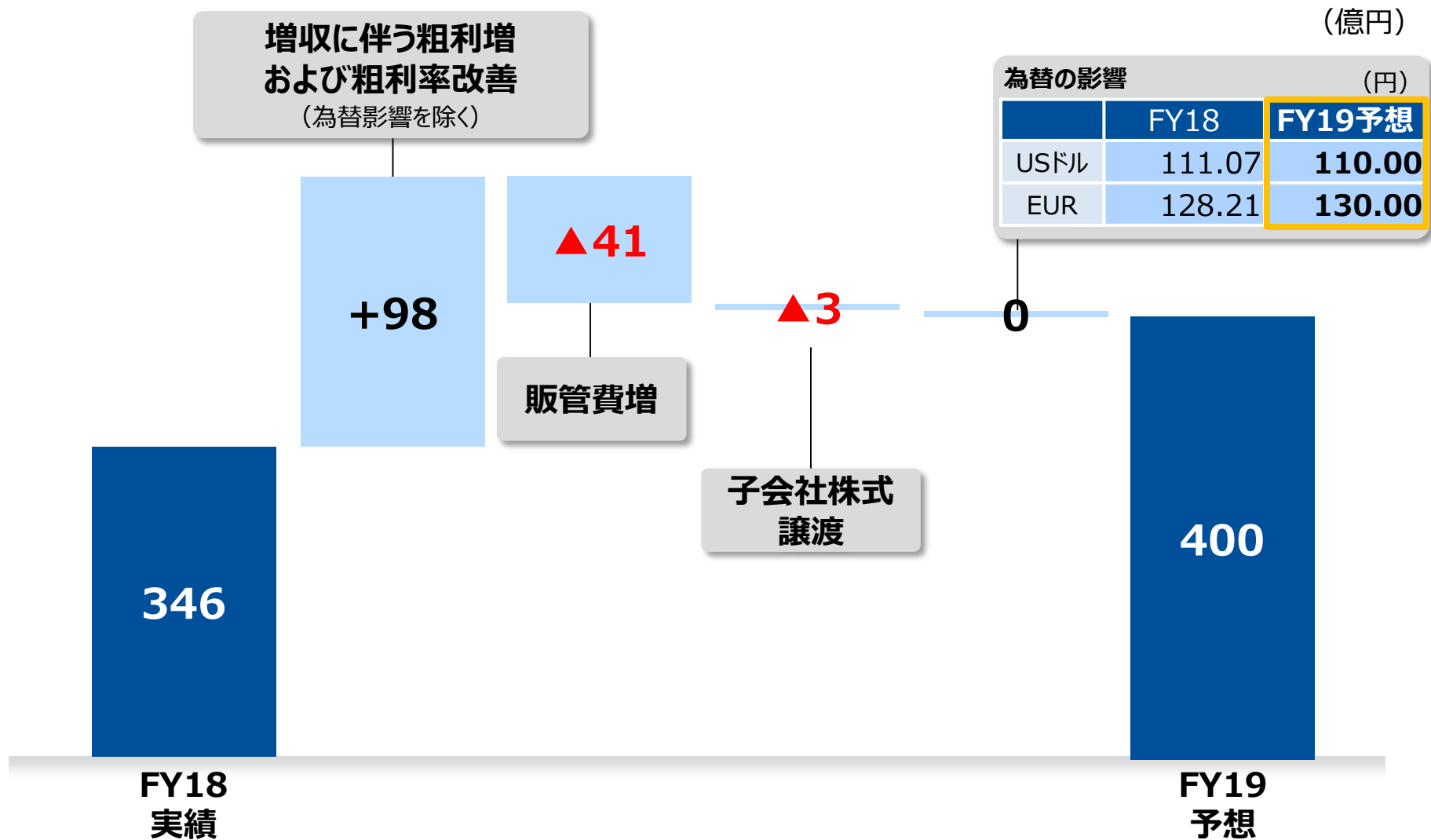


# 業績予想（変更なし）

(億円)

	FY17 実績(A)	FY18 実績(B)	FY19 予想(C)	前年比 (C-B)	伸長率 (C÷B-1)	
受注高	4,003	4,320	<b>4,300</b>	▲20	▲0.5%	
売上高	4,066	4,037	<b>4,200</b>	+163	+4.0%	
営業利益	327	346	<b>400</b>	+54	+15.6%	
ROS(%)	8.0	8.6	9.5	+0.9pt	—	
経常利益	333	368	<b>400</b>	+32	+8.8%	
税引前利益	294	384	<b>400</b>	+16	+4.2%	
法人税等	79	100	110	+10	+10.0%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	214	284	<b>290</b>	+6	+1.9%	
EPS(円)	80.27	106.54	<b>108.64</b>	+2.10	+2.0%	
為替レート	1米ドル=	110.70円	111.07円	<b>110円</b>	▲1.07円	—

# 営業利益増減要因（変更なし）



# セグメント別 受注・売上・営業利益（変更なし）

- ◆ 制御事業 : 高水準の受注残高を背景に増収増益の見通し
- ◆ 計測事業 : ほぼ前年並みの見通し
- ◆ 航機その他事業 : 子会社譲渡影響等により受注・売上は減少見通しだが、損失は改善を見込む

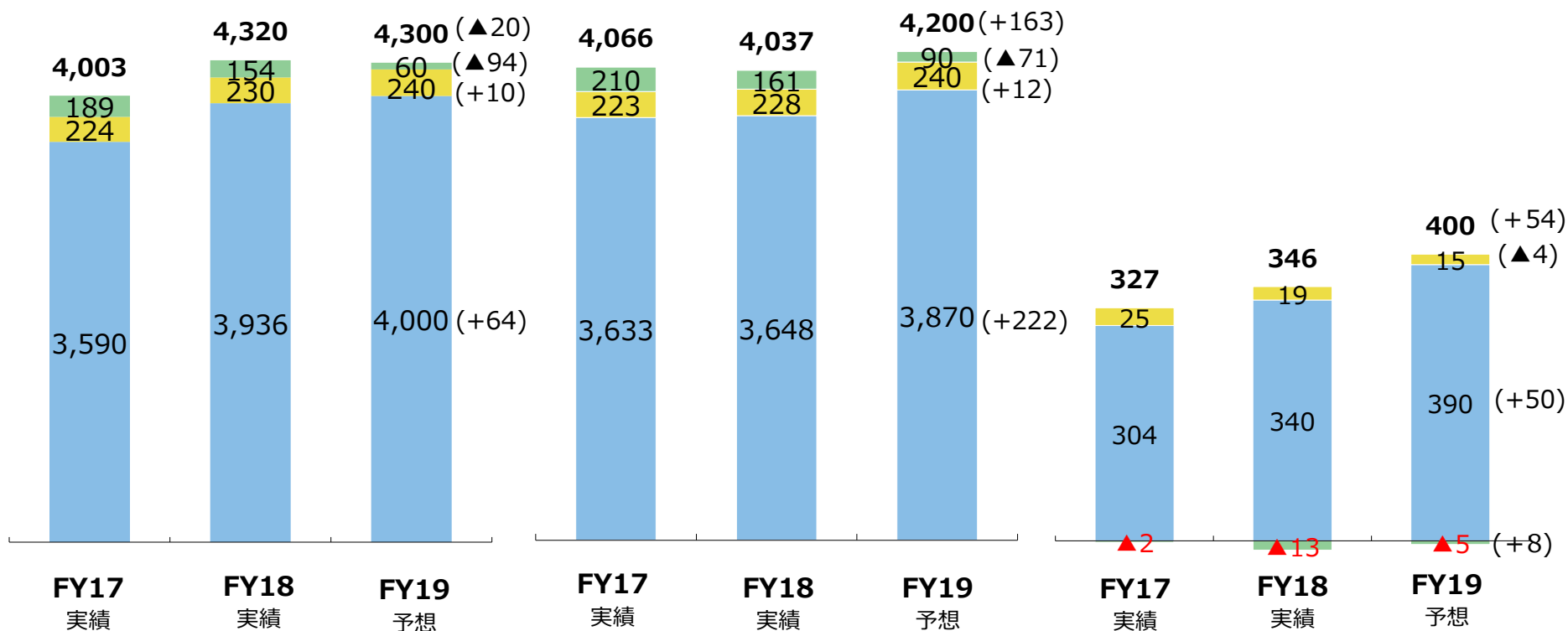
制 御      計 測      航機その他

(億円)

受注高

売上高

営業利益



# 制御地域別 受注・売上高（変更なし）

- ◆受注：北米は前年に大口PJTを受注した影響で減少見通したが、アジアを中心に伸長する見通し
- ◆売上：中東を中心に、海外売上が伸長する見通し

(億円)

受注高	FY18 実績 (A)	FY19 予想 (B)	前年比 (B-A)
日本	1,114	1,120	6
アジア	1,245	1,290	45
(東南アジア・ 極東)	(643)	(660)	(17)
(中国)	(426)	(440)	(14)
(インド)	(176)	(190)	(14)
欧州・CIS	532	550	18
中東アフリカ	567	590	23
北米	382	350	▲32
中南米	96	100	4
海外小計	2,822	2,880	58
合計	3,936	4,000	64
為替レート 1米ドル=	111.07円	110円	▲ 1.07円

売上高	FY18 実績 (A)	FY19 予想 (B)	前年比 (B-A)
日本	1,094	1,120	26
アジア	1,203	1,260	57
(東南アジア・ 極東)	(673)	(660)	(▲13)
(中国)	(405)	(420)	(15)
(インド)	(125)	(180)	(55)
欧州・CIS	495	510	15
中東アフリカ	490	570	80
北米	285	320	35
中南米	81	90	9
海外小計	2,554	2,750	196
合計	3,648	3,870	222
為替レート 1米ドル=	111.07円	110円	▲ 1.07円

# 決算補足資料

- ・四半期別実績
- ・営業外・特別損益
- ・受注残推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表

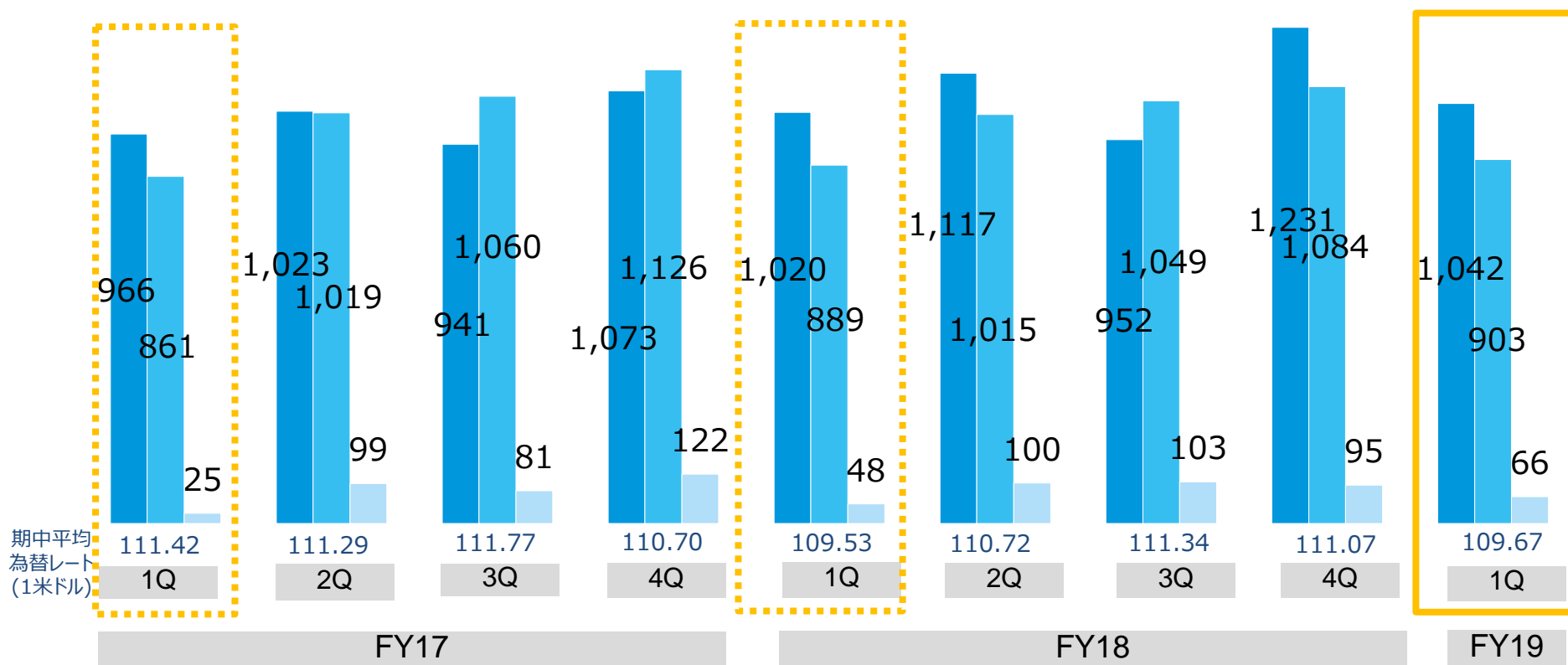
# 補足：四半期別実績

◆売上高・営業利益は、日本の制御事業を中心に2Qおよび4Qに集中傾向

※FY18決算において譲渡した子会社の実績(航機その他セグメント)  
 FY18 1Q 受注：27億円 売上：18億円 営業利益：▲1億円  
 FY18年間 受注：78億円 売上：77億円 営業利益：3億円

■ 受注 ■ 売上 ■ 営業利益

(億円)



# 補足：営業外・特別損益

(億円)

	FY18_1Q 実績	FY19_1Q 実績
営業利益	48	66
営業外収益	11	12
営業外費用	3	10
経常利益	56	68
特別利益	4	9
特別損失	0	32
税引前利益	60	45
法人税等	26	24
親会社株主に帰属する 四半期純利益	34	21

FY19: 為替差損 5億円

FY19: 事業譲渡益 8億円

FY19: ソフトエラー対策強化  
引当金繰入額 30億円

(税負担率)

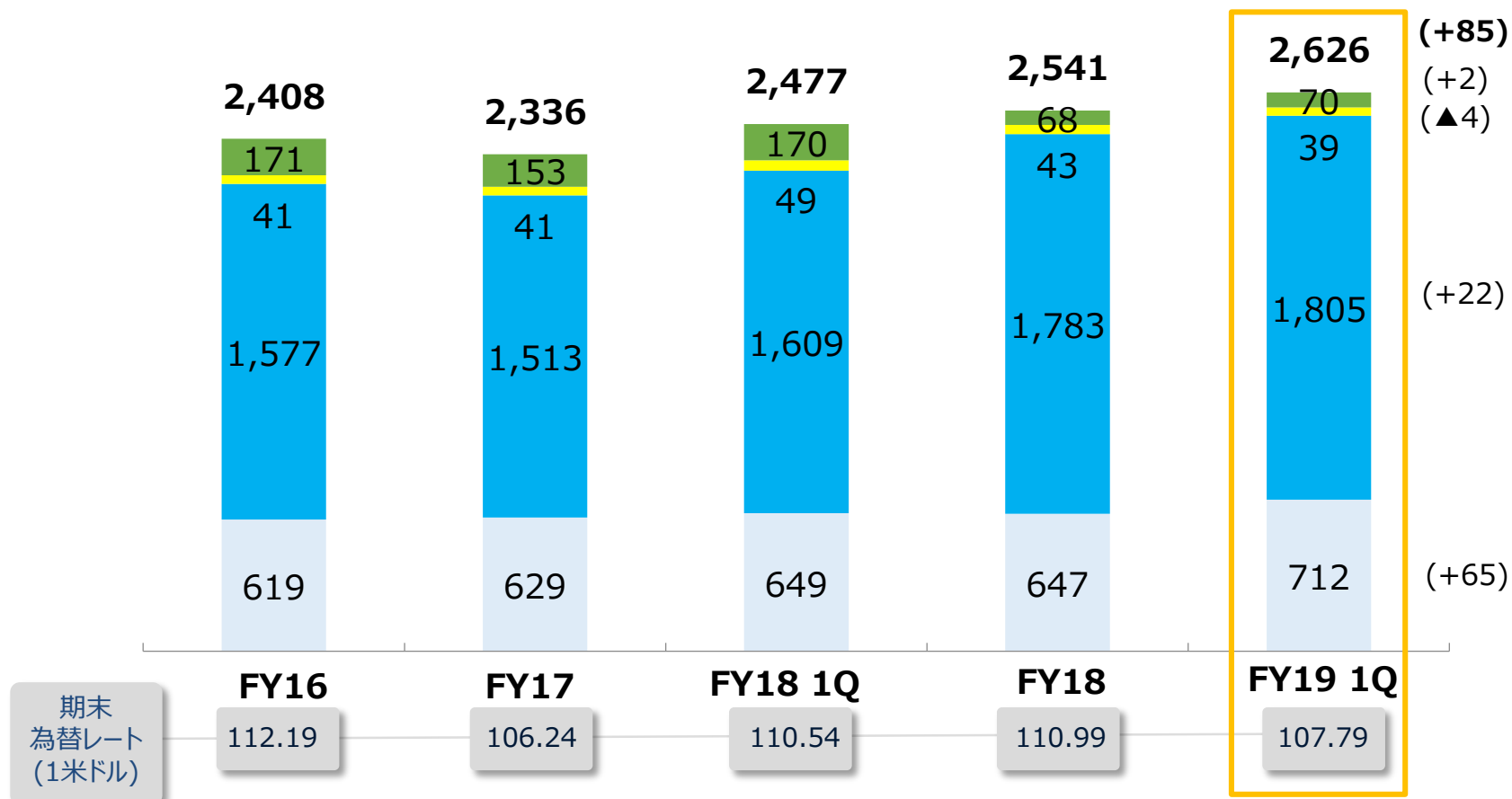
37.0%

45.3%



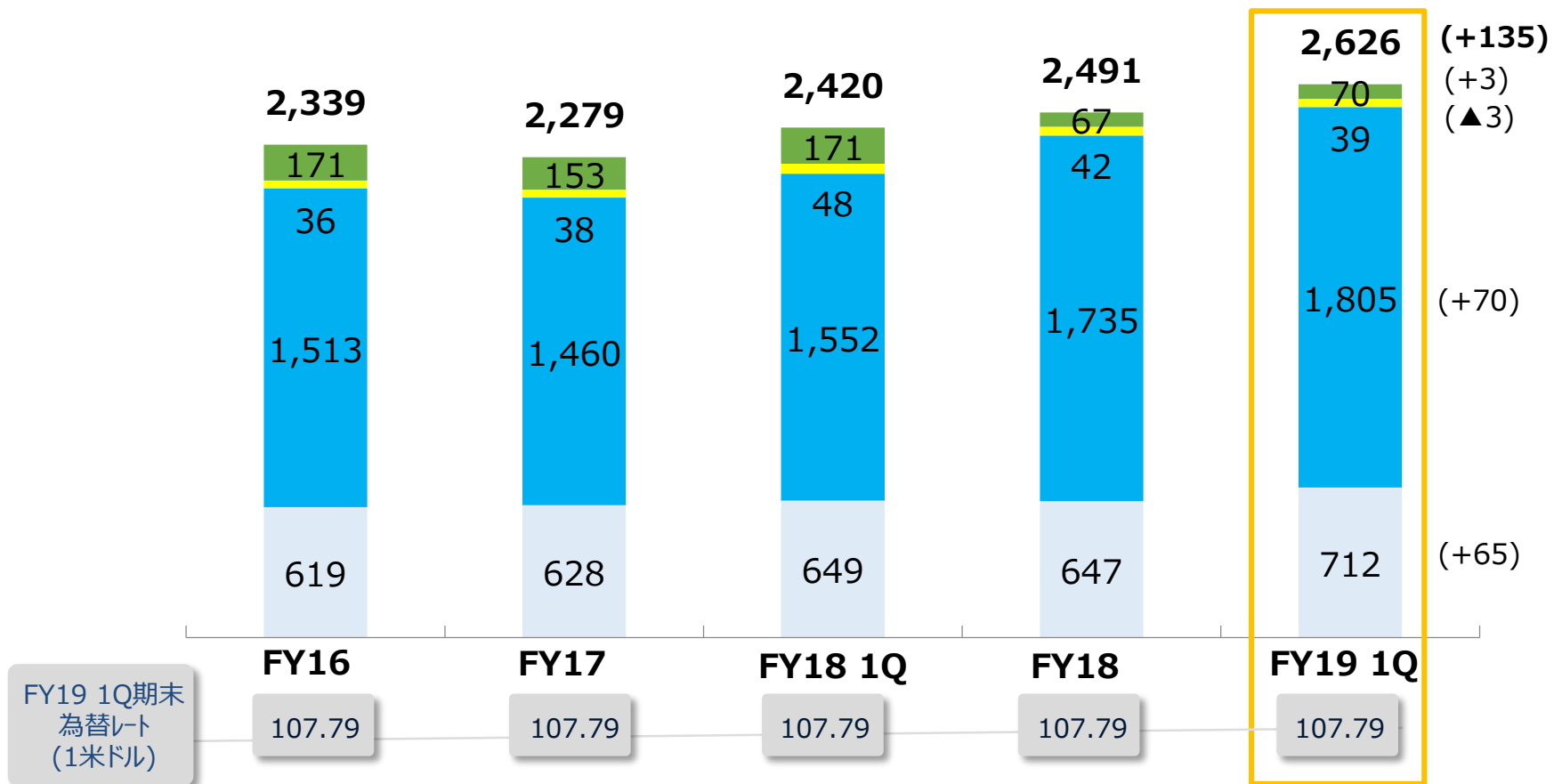
# 補足：セグメント別 受注残推移

■ 制御（日本） ■ 制御（海外） ■ 計測 ■ 航機その他 (億円)



# 補足：セグメント別 受注残推移 \*FY19 1Q期末為替レート換算

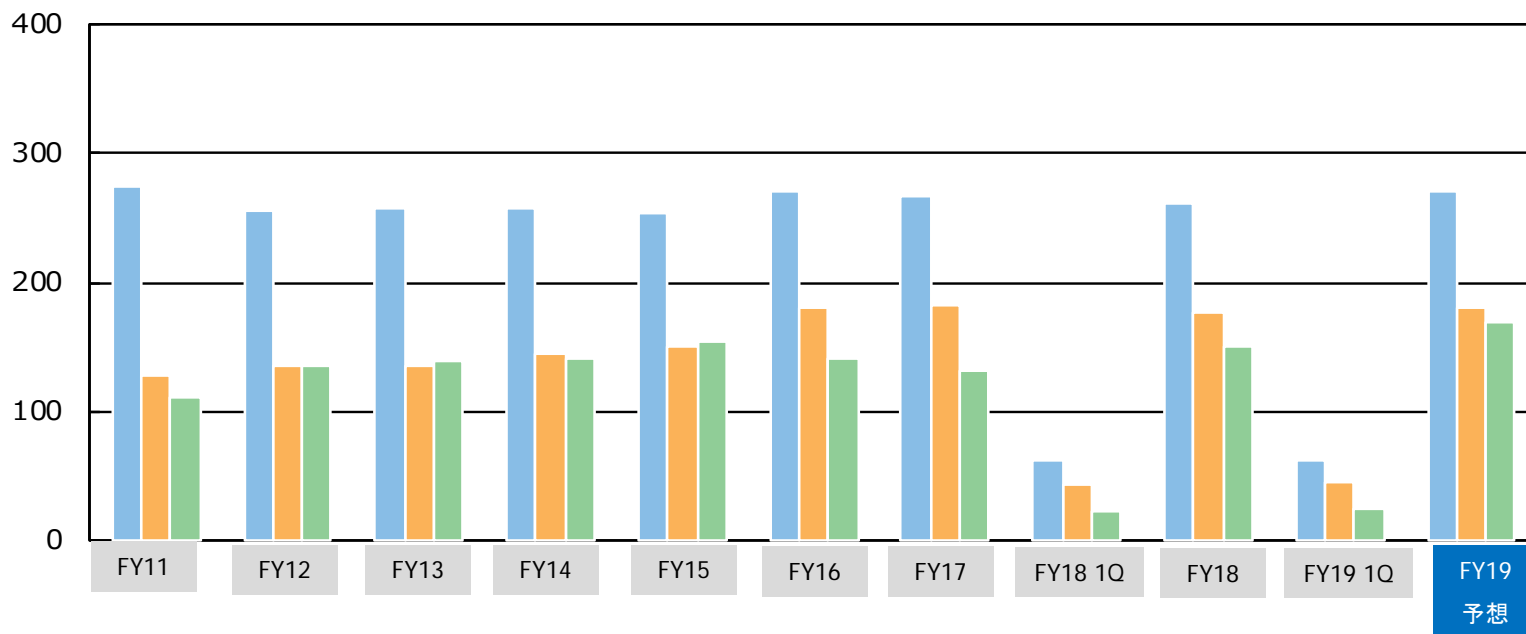
■ 制御（日本） ■ 制御（海外） ■ 計測 ■ 航機その他 (億円)



# 補足：研究開発費・減価償却費・設備投資

◆FY19設備投資は中期計画戦略投資を前提に微増見込み

■ 研究開発費 ■ 減価償却費 ■ 設備投資 (億円)

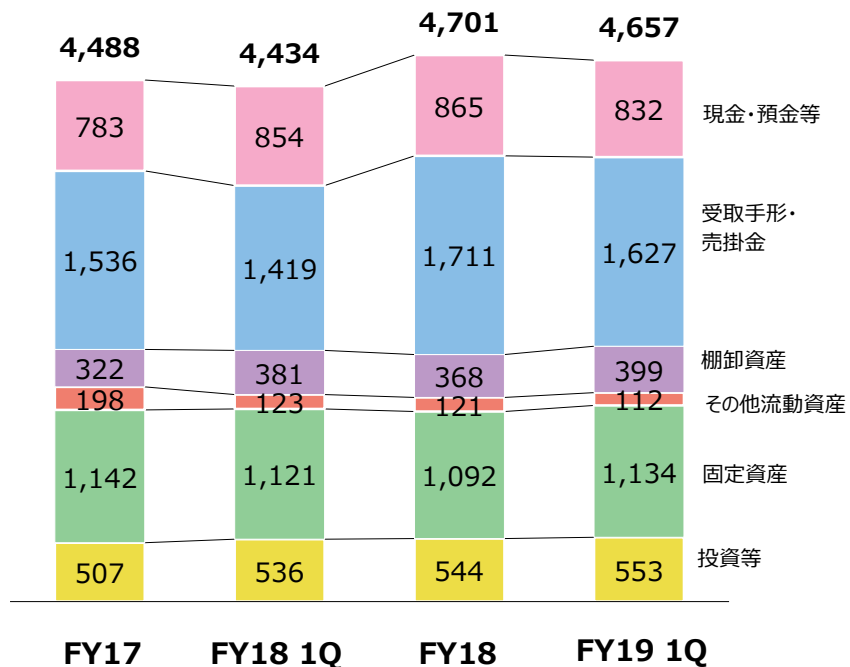


	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18 1Q	FY18	FY19 1Q	FY19 予想
研究開発費 (対売上高比率)	275 8.2%	255 7.3%	258 6.6%	258 6.4%	253 6.1%	271 6.9%	266 6.5%	62 7.0%	262 6.5%	62 6.9%	270 6.4%
減価償却費 (対売上高比率)	128 3.8%	135 3.9%	136 3.5%	145 3.6%	151 3.6%	180 4.6%	183 4.5%	43 4.8%	177 4.4%	46 5.1%	180 4.3%
設備投資 (対売上高比率)	111 3.3%	135 3.9%	140 3.6%	141 3.5%	154 3.7%	142 3.6%	132 3.2%	22 2.4%	150 3.7%	24 2.6%	170 4.0%

# 補足：貸借対照表

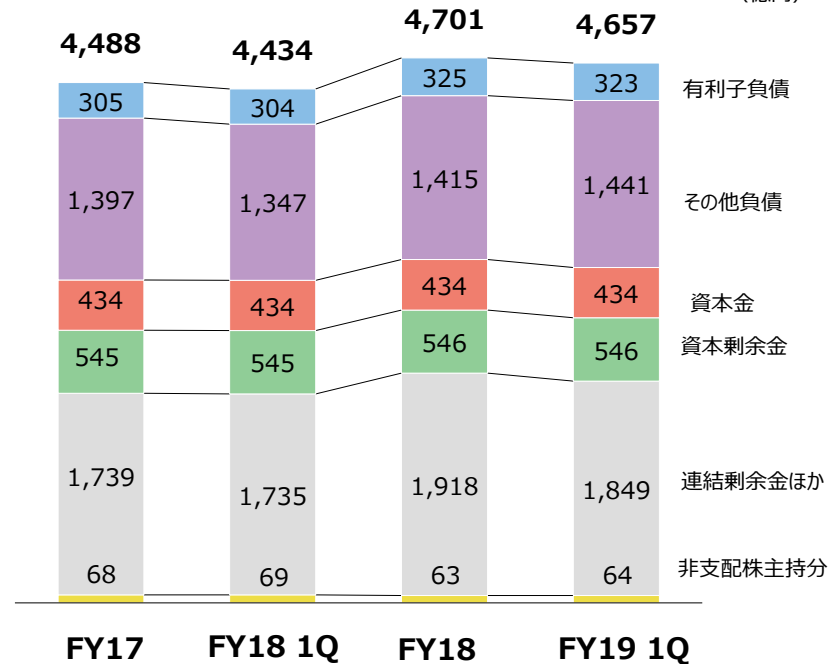
## 資産

(億円)



## 負債・資本

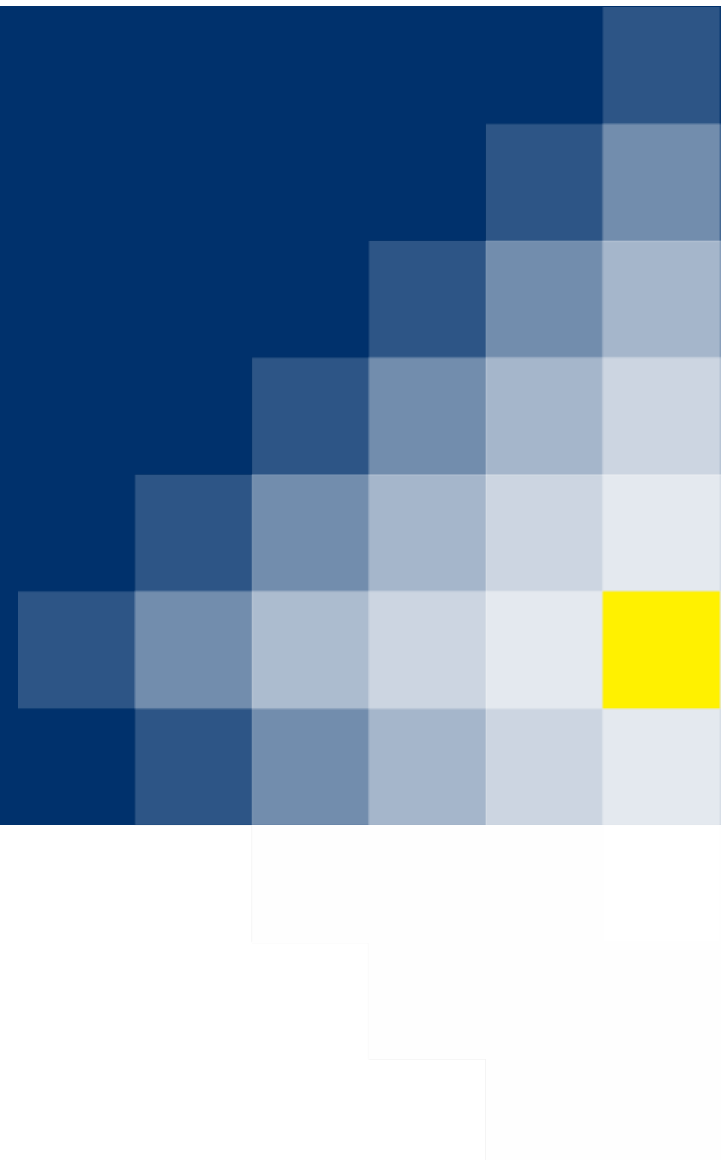
(億円)



### IFRS第16号（リース）適用による影響

(借) 有形固定資産その他 +74億円 (貸) その他流動負債 +20億円  
 その他固定負債 +54億円

Co-innovating tomorrow™



# <ご参考> 制御事業のソリューション

## “Automation Supplier”から“Trusted Partner”へ



Operational Technology



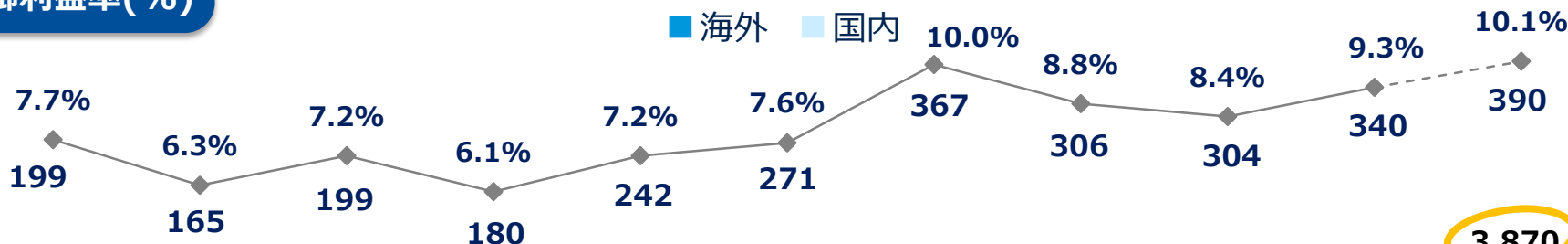
Information Technology

# <ご参考> 制御国内海外 売上高/営業利益/利益率推移

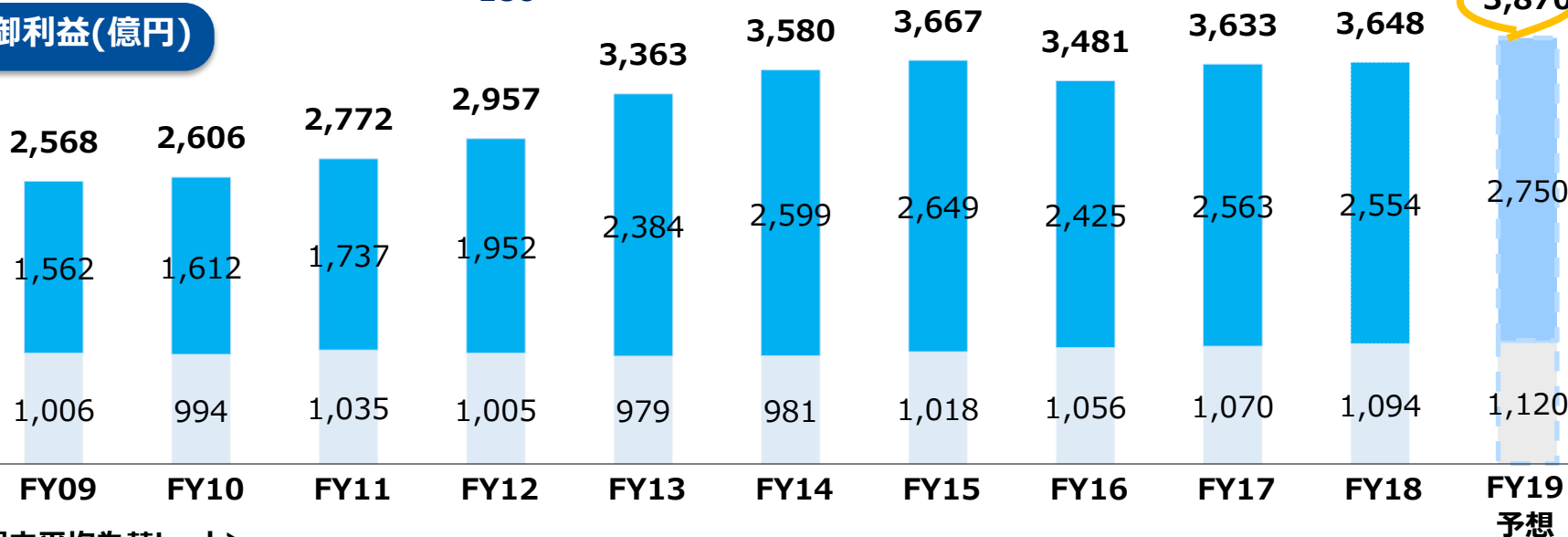
## 制御の売上高は、過去最高を目指す

(単位：億円)

制御利益率(%)



制御利益(億円)



<期中平均為替レート>

USD/円(¥)	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19予想
	92.61	85.13	78.82	83.33	100.67	110.58	119.99	108.95	110.70	111.07	110.00

# <ご参考>トピックス (5/9~8/6)

5月 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)コンソーシアムに参加

フィンランドのSensireに資本参加~コールドチェーン・モニタリング分野での協業を開始~

子会社のアムニモがIoTの導入から運用まで必要な機能をパッケージ化した「amnimo sense beta」のサービスを提供開始



6月 東南アジアの製造業向けに経営資源を有効活用するERPソリューションを提供開始

「日・サウジ・ビジョン2030」ビジネスフォーラムに参加

ExxonMobilにオープンプロセスオートメーション (OPA) テストベッド構築を担当するシステムインテグレータとして選定

7月 無線圧力センサ・無線温度センサを用いた設備監視ソリューション(Sushi Sensor第2弾)を開発・発売  
~プラント内の圧力・温度データをオンラインで容易に収集し、プラント保全に貢献~

統合生産制御システム「CENTUM VP R6.07」を開発、発売

~フィールドデジタル技術による統合操作監視対象の拡大で生産性向上に貢献~



8月 アルゼンチン国営石油会社向けに圧力伝送器1,350台を受注  
~石油・天然ガスのアップストリーム工程の生産性向上に貢献~

※日付は発表月です



# <ご参考> YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2019年6月現在

DJSI-Asia Pacific  
FTSE4Good Index Series  
MSCI ESG Leaders Indexes  
FTSE Blossom Japan Index  
MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数  
MSCI 日本株 女性活躍指数  
SNAMサステナビリティ・インデックス  
CDP  
S&P/JPXカーボンエフィシエント指数  
世界で最も持続可能な100社 (Global 100)

MEMBER OF

**Dow Jones  
Sustainability Indices**

In Collaboration with RobecoSAM



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan

**MSCI** 

2019 Constituent  
MSCI ESG  
Leaders Indexes

**MSCI** 

2019 Constituent  
MSCI ジャパンESG  
セレクト・リーダーズ指数

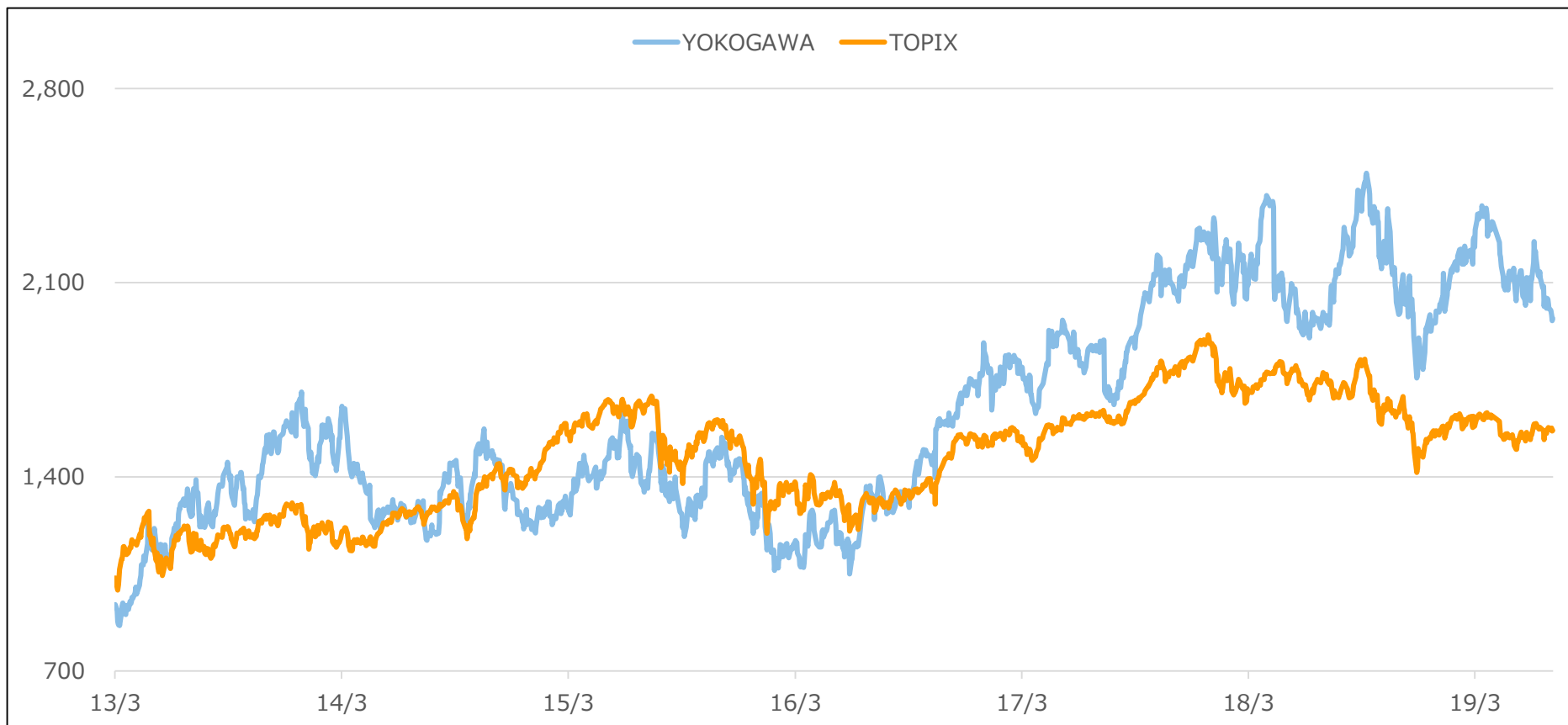
**MSCI** 

2019 Constituent  
MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



THE INCLUSION OF [ISSUER ENTITY NAME] IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF [ISSUER ENTITY NAME] BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

# <ご参考> 株価の状況



(円)

	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/6	19/8/1
Yokogawa	946	1,667	1,295	1,163	1,752	2,198	2,291	2,112	1,972
TOPIX	1,035	1,203	1,543	1,347	1,512	1,716	1,592	1,551	1,567

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定および税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴う過年度遡及修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

## 横河電機株式会社

財務・IR部 IR課

Email : [Yokogawa\\_Electric\\_IR6841@cs.jp.yokogawa.com](mailto:Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com)

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>